

かんたん 設置ガイド

プリンターの設置を安全に行うための注意事項は、裏面の「安全にお使いいただくために」に記載されています。◎P.6
 設置を始める前によくお読みください。

最初にお読みください。
 ご使用前に必ず本書をお読みください。
 将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

Check!
開梱時の梱包材は保管する
 購入時のパッケージ(箱)やパッケージ内の梱包材は、移動や移設、修理などのプリンター輸送時に必要になります。

Step 1 設置準備

入っているものを確認する

- プリンター
 - 次のものが取り付けられています。
 - 給紙カセット
- User Software CD-ROM
 - 次のものが収められています。
 - プリンタードライバー
 - NetSpot Device Installer
 - FontGallery
 - プリンタードライバインストールガイド
- 取扱説明書CD-ROM
 - 次のものが収められています。
 - 電子マニュアル
 - コントロールROM (CR-HiY)用マニュアル
 - 設置する際は、電子マニュアルもあわせてお読みください
- トナーカートリッジ
 - 不足しているものや破損しているものがある場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。
 - LANケーブルやUSBケーブル、ルーターなどは付属していません。別途ご用意ください。
- 保護カバー*
 - *LBP8730i / LBP8720 / LBP8710のみ
- 保証登録のお願い
- 電源コード
 - USBケーブルは、次のマークがあるケーブルをご使用ください。
- ポケットガイド
- かんたん設置ガイド(本書)

設置する場所を確認する

温度/湿度条件

- 温度範囲: 10℃～30℃
- 湿度範囲: 20～80%RH (相対湿度・結露しないこと)

電源条件

- AC100V ± 10%、15A以上
- 50/60 Hz ± 2 Hz

次のような場所に設置する

- 十分なスペースが確保されている場所
- ※側面は100mm以上のスペースを空けてください。
- 風通しがよい
- 平坦で水平になっている
- 本機の質量に耐えられる十分な強度がある

以下の寸法を参考にして、設置スペースを確保してください。

ペーパーフィーダー(オプション)を3段装着している場合

Step 2 設置場所に運ぶ

ペーパーフィーダーを取り付けて使用するとき

プリンターを設置場所に運ぶ前にペーパーフィーダーを設置してください。

ペーパーフィーダーを取り付ける ◎P.4

次のオプションの取り付け方法については、電子マニュアルをご覧ください。

- ROM
- SDカード

ペーパーフィーダーを取り付けずに使用するとき

プリンターを設置場所に運んでください。

運搬用取手に手を差し込んで、必ず2人以上で運んでください。

Step 3 梱包材を取り外す

テープはすべて取り外す

以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがプリンターに貼られているときは、すべて取り外してください

※ 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加・削除されることがあります。

- ボタンを押しながら、前カバーを開ける
- テープを持って梱包材ごと取り外し、前カバーを閉める
- 給紙カセットを引き出し、手前側を持ち上げて取り外す
- 梱包材を取り外す
- 給紙カセットをセットする
- 背面に保護カバーを取り付ける

Check!

梱包材はすべて取り外しましたか?
 ※下記の梱包材は、地域の条例に従って処分してください。

オレンジ色のテープがすべて取り外されていることを確認する

※確認が終わったら、前カバー、手差しトレイ、サブ排紙トレイ、両面ユニットをすべて閉めてください。

Step 4 トナーカートリッジを準備する

- ボタンを押しながら、前カバーを開ける
- トナーカートリッジを保護袋から取り出し、テープを持って保護シートごと取り外す
- トナーカートリッジを5～6回振って内部のトナーを均一にらし、平らな場所に置く
- シーリングテープをまっすぐ引き抜く
- トナーカートリッジを取り付け、前カバーを閉める

約70cm

斜めに引っ張らない

正面図

奥に当たるまで確実に押し込む

同梱のポケットガイドの裏表紙に、シリアルナンバーと購入日をご記入ください。お買い求めの販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせの際に必要です。

ここにシリアルナンバーと購入日をご記入ください。(ポケットガイドの裏表紙)

シリアルナンバー

シリアルナンバーは、上の図で示す位置に表示されています。

Step 5 用紙をセットする

ここでは、A4サイズ用の紙を給紙カセットにセットする方法を説明します。

- 給紙カセットを引き出し、手前側を持ち上げて取り外す
- 用紙を給紙カセットの手前側に突き当ててセットする
- 給紙カセットをセットする

印刷面を下にする

Check!

積載制限マークの線を超えないようにセットしてください。

Step 6 電源コードを接続して電源を入れる

- 付属の電源コードを、電源ソケットに差し込む
- アース線のキャップを外して、専用のアース端子に接続する
- 電源コードのプラグをコンセントに差し込む
- 電源を入れる

Step 7 パソコンと接続する

USB接続の場合

- Aタイプ(平たい側)をパソコンに接続する
- Bタイプ(四角い側)側をプリンターに接続する

プラグ・アンド・プレイの自動セットアップの画面が表示されたときは、[閉じる]または[キャンセル]をクリックしてください。

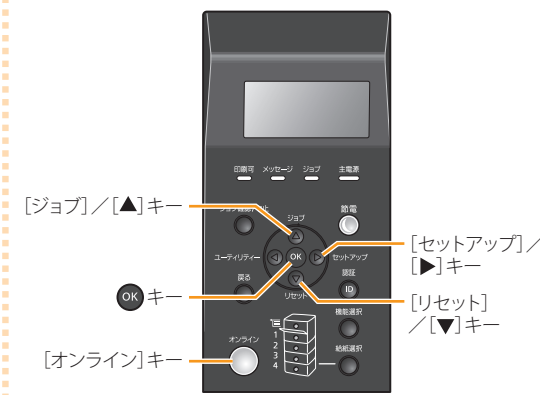
続いて、プリンタードライバのインストールを行います。Step 3 P.4へ

LAN接続の場合

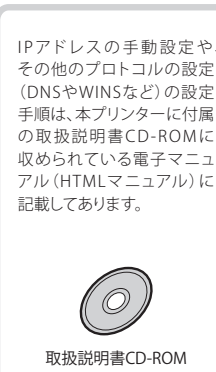
- LANケーブルを接続する
- LNKランプが点灯していることを確認する

続いて、操作パネルでプリンターのIPアドレスの設定を行います。P.4へ

続いて、操作パネルでプリンターのIPアドレスの設定を行います。



※[戻る]キーを押すと、ひとつ前の階層へ戻ります。



取扱説明書CD-ROM

ここではIPアドレスを自動(DHCP)で設定する手順で説明しています。

- [セットアップ]キーを押して、[▲]、[▼]で「ネットワーク」を選び、**OK**を押す
メッセージが表示されたら、**OK**を押します。
- [▲]、[▼]で「TCP/IP設定」を選び、**OK**を押す
- [▲]、[▼]で「IPv4設定」を選び、**OK**を押す
- [▲]、[▼]で「Pモード」を選び、**OK**を押す
- [▲]、[▼]で「自動」を選び、**OK**を押す
- [▲]、[▼]で「プロトコル」を選び、**OK**を押す
- [▲]、[▼]で「DHCPによるアドレス設定」を選び、**OK**を押す
- [▲]、[▼]で「オン」を選び、**OK**を押す
- [オンライン]キーを押す
- プリンターの電源を入れなおす
プリンターの再起動後に設定が有効になります。
※本製品が自動的にIPアドレスを設定します。約2分お待ちください。

Step 8 プリンタードライバーをインストールする

LIPS LXとLIPS4プリンタードライバーの違い

LIPS LX

従来よりも高速で安定した印刷ができるほか、少ないメモリーでの動作を実現します。通常はこちらのインストールをおすすめします。

LIPS4

プリンタードライバー上でのフォームオーバーレイ機能やTrueTypeフォントの置き換え機能などを使用したい場合はこちらをインストールしてください。

- パソコンの電源を入れる
- 付属のUser Software CD-ROMをセットする
セットアップ画面が表示されます。
- [インストール]をクリックする
以降、画面の指示に従って操作してください。

操作方法で不明な点があるとき

プリンタードライバーのインストール方法については、User Software CD-ROMに収められている「プリンタードライバーインストールガイド」を参照してください。

プリンターのセットアップが終了しました

ここまでの手順が終了すると、プリンターをお使いいただくことができます。

Option ペーパーフィーダーを取り付ける

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置するとき

➡ P.5

ペーパーフィーダーをあとから設置するとき
(プリンターをすでに使用しているとき)

- パソコンの電源を切る
- プリンターの電源を切り、接続されているケーブルやコードを取り外す
USBケーブル*
LANケーブル*
電源コード
① 電源プラグを抜く
② アース線を取り外す
③ プリンターから抜く

*接続の有無は、お使いの環境によって異なります。

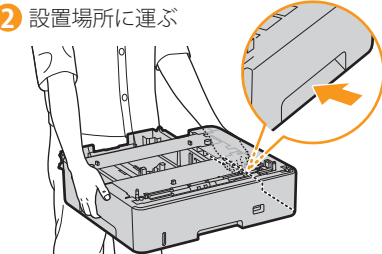
テープはすべて取り外す



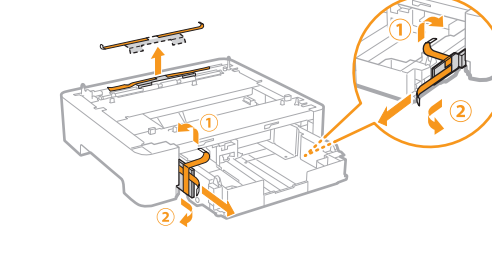
以降の手順を行う際、オレンジ色のテープがペーパーフィーダーに貼られているときは、すべて取り外してください
※ 梱包材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加・削除されることがあります。

ペーパーフィーダー

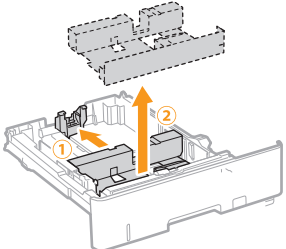
- ペーパーフィーダーを箱から取り出す
- 設置場所に運ぶ
- 背面側で、テープを持って梱包材ごと取り外す
- 給紙カセットを引き出し、手前側を持ち上げて取り外す



両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。



- 梱包材を取り外す



ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを奥へ移動する

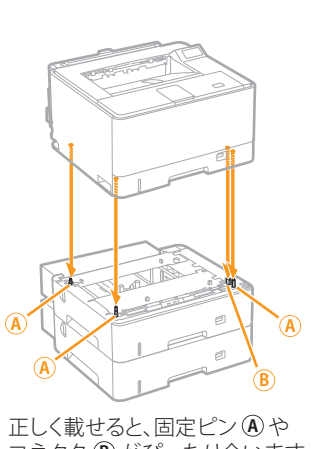
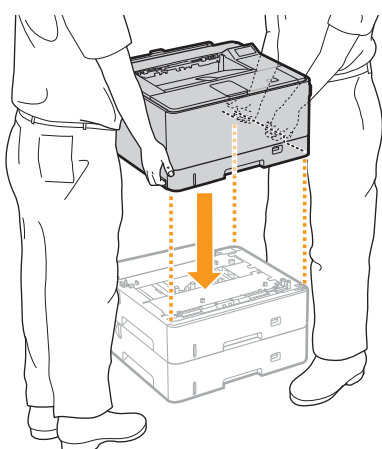


- 背面にカセット保護カバーを取り付ける

- 給紙カセットをペーパーフィーダーにセットする

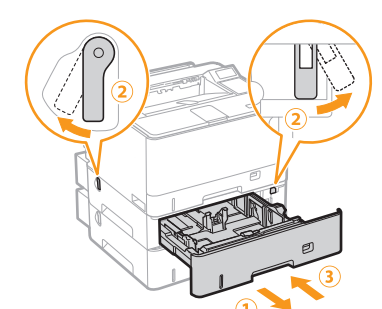
プリンター本体

- 本体をペーパーフィーダーの前面と両側面に合わせてゆっくりと載せる



正しく載せると、固定ピン(A)やコネクタ(B)がぴったり合います。

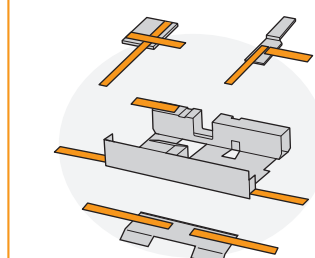
- ロックする



前面のロックレバーは、一度給紙カセットを引き出してからロックします。

Check!

梱包材はすべて取り外しましたか？



※上記の梱包材は、地域の条例に従って処分してください。

続いて、次の手順にそって作業を進めます

プリンターとペーパーフィーダーを同時に設置したとき

- 梱包材を取り外す ➡ P.2
- トナーカートリッジを準備する ➡ P.2
- 用紙をセットする ➡ P.3
プリンター本体に標準の給紙カセットの手順を参考に用紙をセットしてください。
※ペーパーフィーダーの給紙カセットに用紙をセットする前に、必ず本体の電源を一度入れてください。
- 電源コードを接続して電源を入れる ➡ P.3
- パソコンと接続する ➡ P.3
- プリンタードライバーをインストールする ➡ P.4

ペーパーフィーダーをあとから設置したとき (プリンターをすでに使用しているとき)

- ケーブルやコードを接続する
取り外したケーブルやコードを接続しなおしてください。
- 電源を入れる
- 用紙をセットする ➡ P.3
プリンター本体に標準の給紙カセットの手順を参考に用紙をセットしてください。
※ペーパーフィーダーの給紙カセットに用紙をセットする前に、必ず本体の電源を一度入れてください。

安全にお使いいただくために

本書では設置と電源の警告や注意のみを記載しております。必ず本プリンターに付属の取扱説明書 CD-ROM に収められている電子マニュアル (HTML マニュアル) で記載されている「安全にお使いいただくために」もあわせてお読みください。



取扱説明書CD-ROM

マークについて

- 警告** 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
- 注意** 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

設置について

警告

火災や感電の原因となる場所には設置しない

- ・ 通気口をふさぐ恐れのある場所 (壁の近く、ベッド、ソファ、毛足の長いじゅうたんの上等)
- ・ 湿気やホコリの多い場所
- ・ 屋外や直射日光の当たる場所
- ・ 高温になる場所
- ・ 火気のある場所
- ・ アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近く

その他の警告

- ・ 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ・ アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- ・ オプション品を取り付けたり、取り外ししたりする場合は、電源を切り、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルと電源コードを取り外してください。電源コードやインターフェイスケーブルが傷つくと、火災や感電の原因になることがあります。
- ・ 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。

注意

次のような場所には設置しない

- ・ 落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- ・ 不安定な場所
- ・ 振動のある場所

その他の注意

- ・ 本機を持ち運ぶときは、マニュアルの指示に従って正しく持ってください。誤った持ち方をすると、落とすなどして、けがの原因になることがあります。
- ・ 本機を設置する場合は、床面や壁、給紙カセットとの間などに手を挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

電源について

警告

- ・ 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ・ 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ・ 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- ・ タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ・ 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- ・ 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。電源プラグがしっかりと差し込まれていないと、火災や感電の原因になることがあります。
- ・ 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になることがあります。

アース線を接続してください

- ・ コンセントのアース線端子に、アース線を接続してください。アース線を接続していないと、万一漏電した場合に感電の恐れがあります。コンセントにアース線専用端子がない場合は、接地工事(D種)が行われているアース線端子に接続してください。
- ・ アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

次の場所にはアース線を絶対に接続しない

- ・ 水道管:配管の一部がプラスチックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できます。
- ・ ガス管:ガス爆発や火災の原因になることがあります。
- ・ 電話線のアースや避雷針:落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。

注意

- ・ 非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、電源プラグの周囲に物を置かないでください。

商標について

本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。